

教職員の勤務状況等調査結果【令和5年3月のまとめ】

令和5年5月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係

毎月の勤務状況調査に御協力いただきありがとうございます。令和5年3月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。

昨年度に全国の教職員を対象に行われた勤務実態に関する調査の結果（速報値）が令和5年4月28日に公表されました。平成28年度の前回調査と比較して、平日・土日ともに、全ての職種において在校等時間が減少したものの、依然として長時間勤務の教師が多い状況が浮き彫りとなりました。



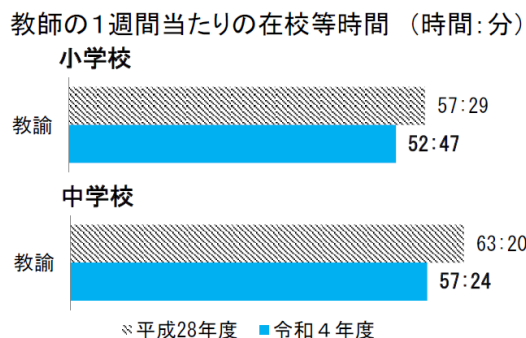
令和5年3月の状況について

■時間外在校等時間が月45時間以上の者の割合を前年3月と比較すると、小学校と特別支援学校では減少している一方、中学校と高校では増加（時間外在校等時間が長くなる傾向）が見られます。令和4年1～3月頃はオミクロン株の急拡大により部活動を縮小していたことも影響している可能性があります。

■新型コロナウイルス感染症への対策が緩和され、卒業関連行事が再開する中で、教員の業務が増えていることが考えられます。コロナ禍で中止されていた行事の再開に当たっては、ねらいや予想される効果を意識し、教員の負担が大きくなるよう御配慮をお願いいたします。

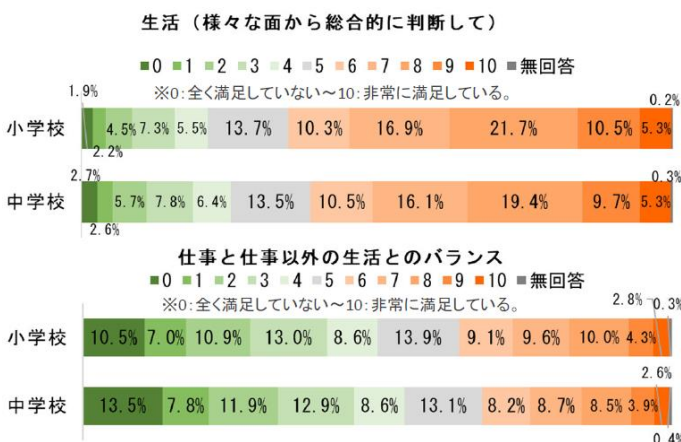
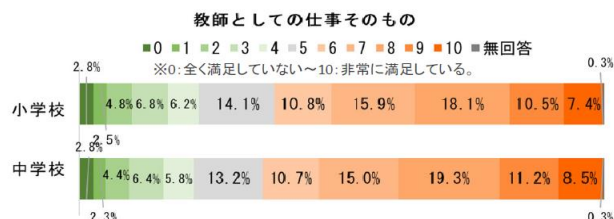
令和4年度教員勤務実態調査結果(速報値)公開

■4月28日（金）に、文部科学省から令和4年度教員勤務実態調査結果（速報値）が公開されました。新聞、TV、インターネットなど様々なメディアで取り上げられています。平成28年度の調査結果から比較すると一定の減少がみられるものの、平均値であっても時間外勤務が月45時間を超えているなど、教員の長時間勤務の実態が解消できていないことが浮き彫りになりました。



$$\begin{aligned}
 & \text{(小学校教諭の在校等時間平均)} - \text{(正規勤務時間)} = \text{(1週間当たりの時間外勤務)} \\
 & \quad 52:47 \qquad \qquad \qquad 38:45 \qquad \qquad \qquad 14:02 \\
 & \text{(1週間当たりの時間外勤務)} \times 4 \div \text{(1月当たりの時間外勤務)} \\
 & \quad 14:02 \qquad \qquad \qquad 56:08 \quad \rightarrow \text{45時間を超えている}
 \end{aligned}$$

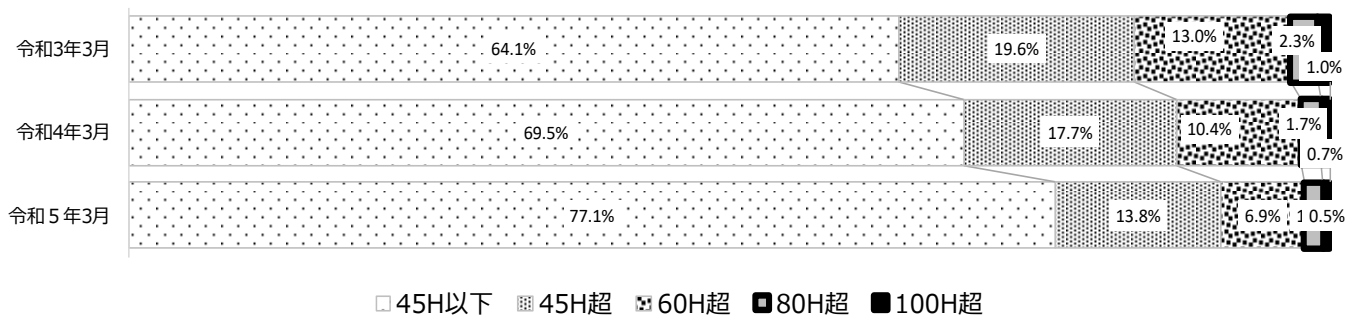
■満足度に関する調査では、「生活」や「教師としての仕事そのもの」に対して満足している者の割合が高い一方で、「仕事と仕事以外の生活のバランス」については満足していない者の割合が高いという結果も出ています。



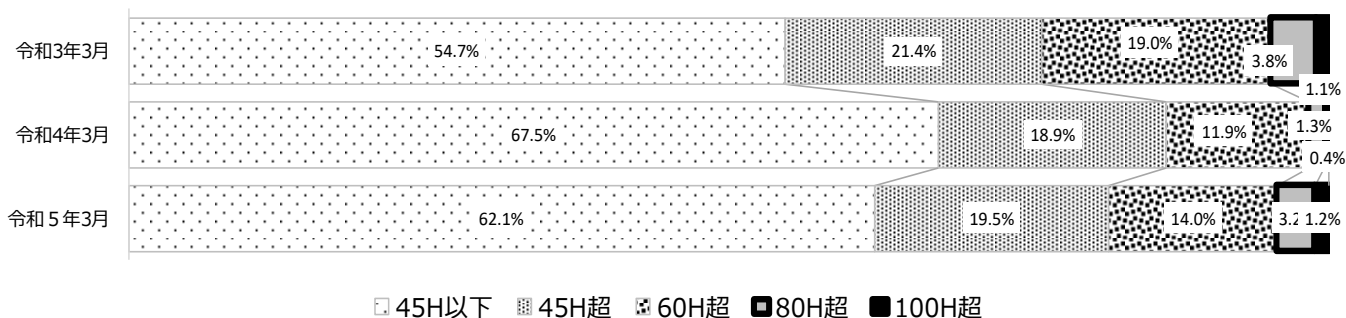
時間外在校等時間の状況【3月の経年変化】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

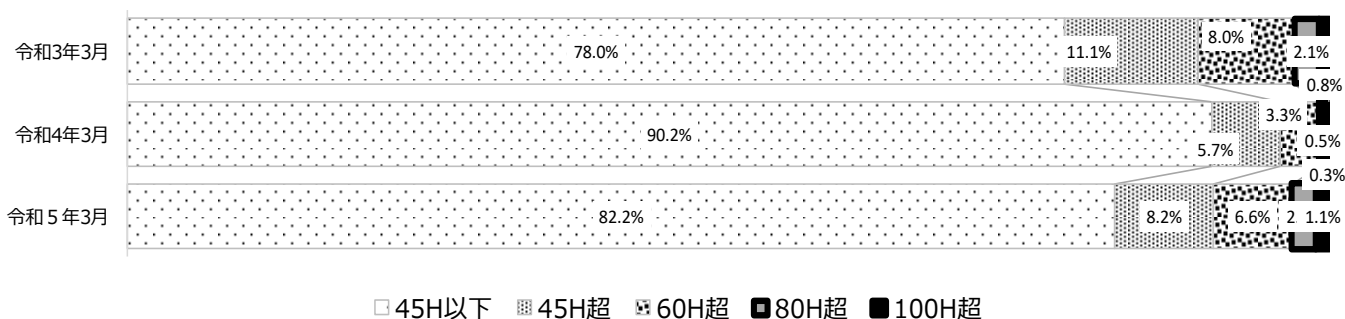
1 小学校の状況



2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



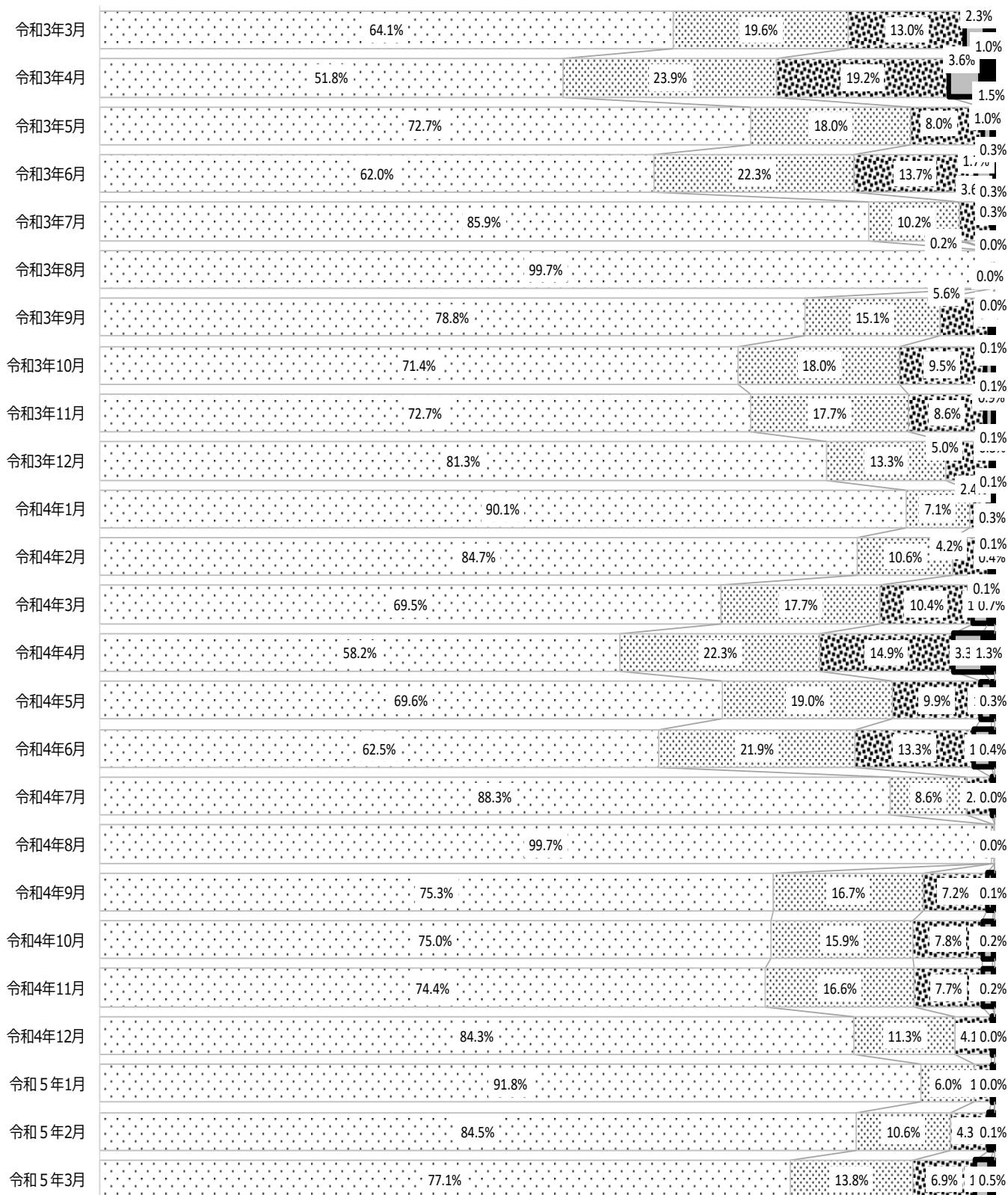
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和3年3月～】

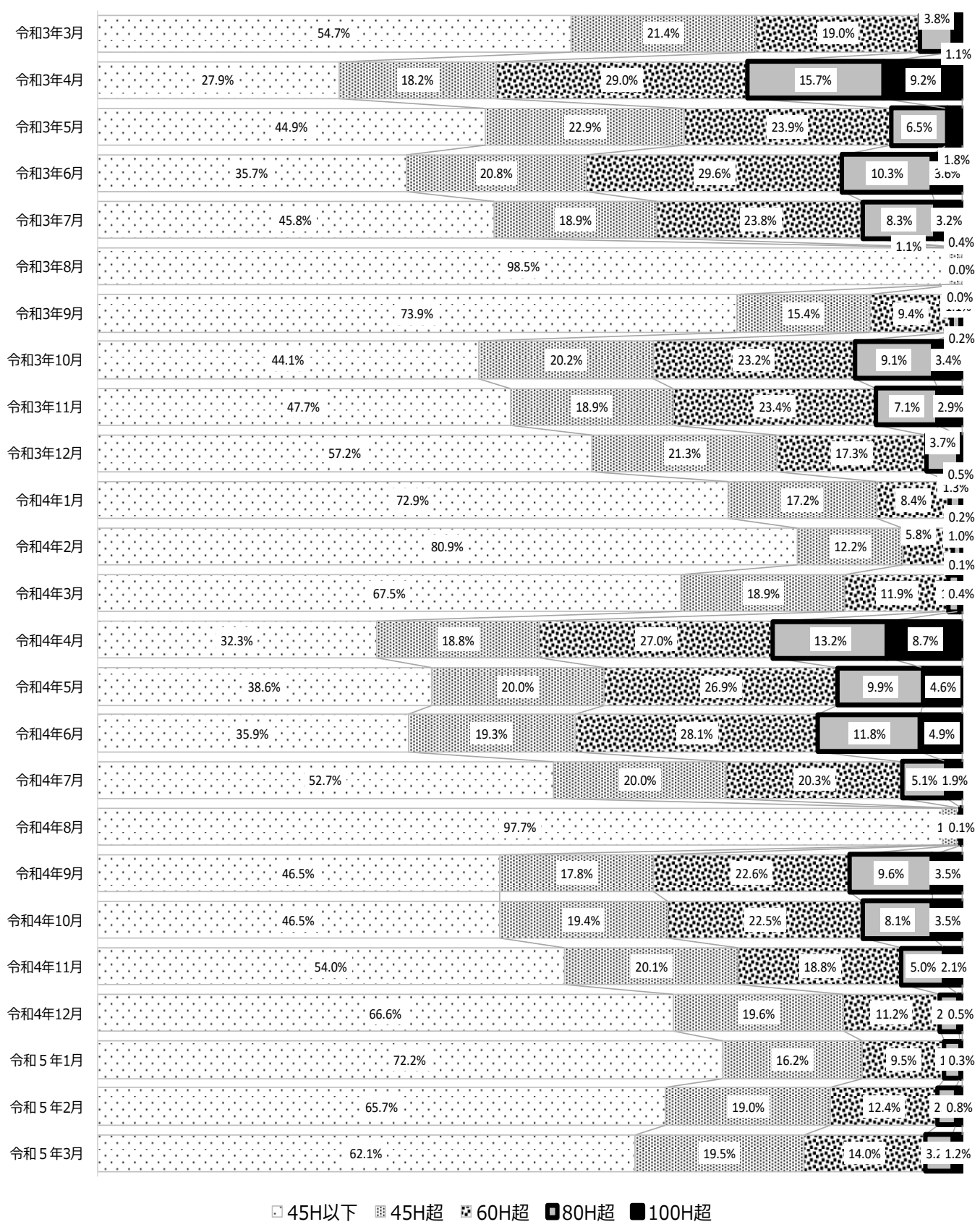
[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

1 小学校の状況



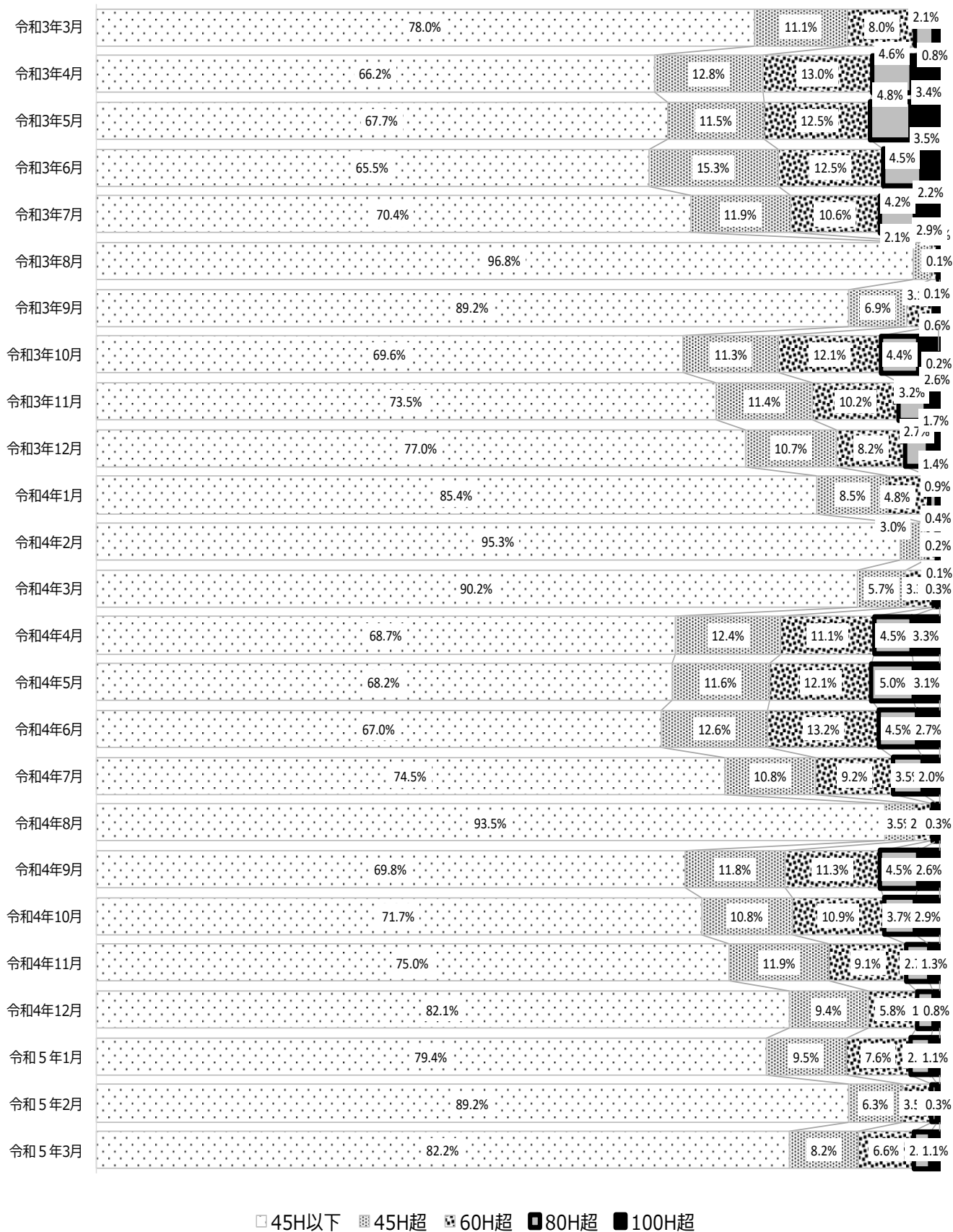
□ 45H以下 ▨ 45H超 ▩ 60H超 ▪ 80H超 ■ 100H超

2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



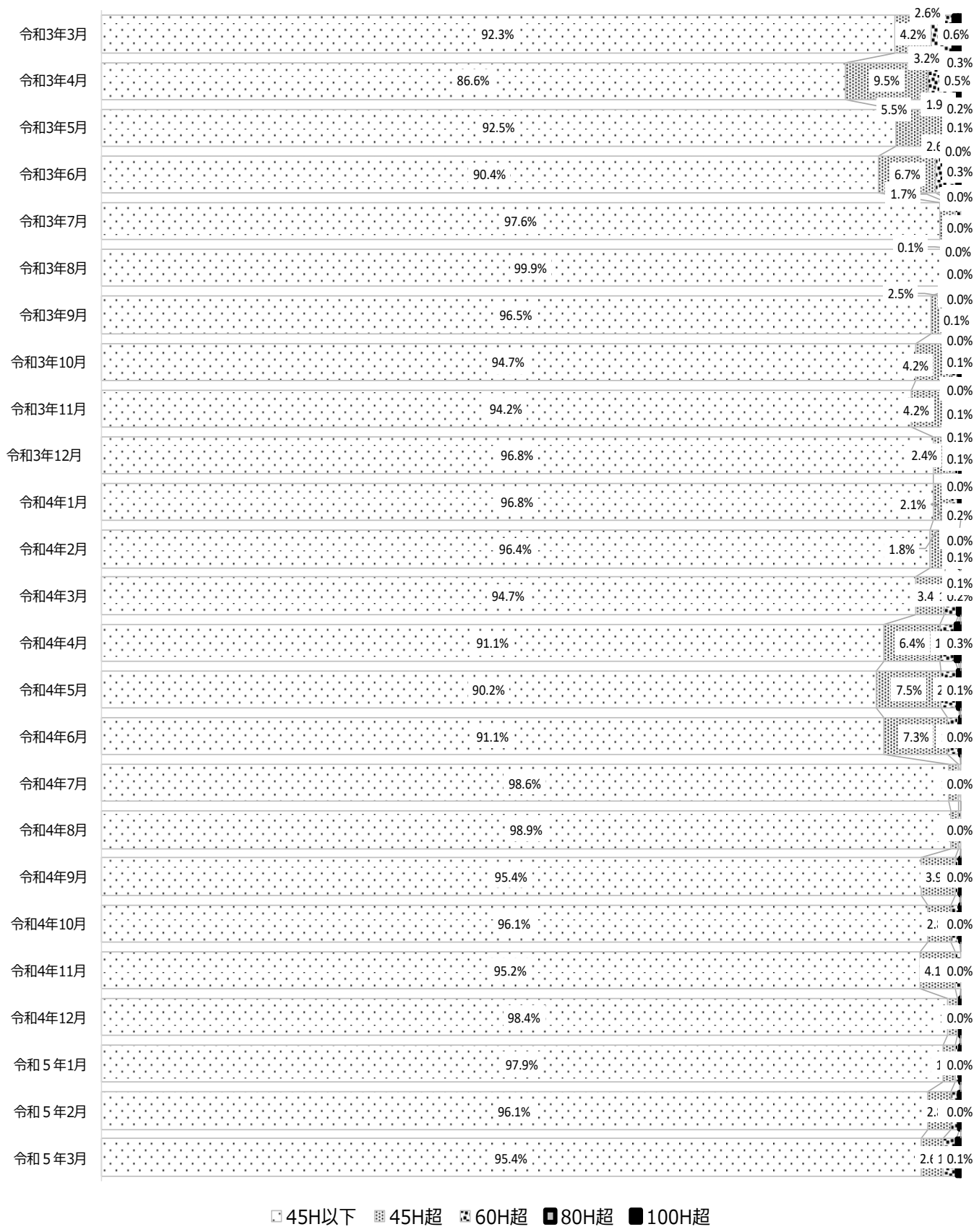
□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



□ 45H以下 ■ 45H超 ■ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超